

平成20年度 大学院共通科目

◆生命・環境・研究倫理

開設研究科	科目番号	授業科目	単位	開講学期	曜時限	教室	担当教員 (下線は実施責任者・ コーディネーター)	科目概要	備考
生命環境科学研究科	O1ZZ001	生命倫理概説 Introduction to Bioethics	1	1	集中	理修C103	渡邊 和男 松井 健二	研究倫理については、科学技術を研究する際のコモンセンスやステークホルダーとのコンセンサスビルディングについて幅広く概論する。生命倫理については、生命科学とひとの心や信条の間の関わりや課題点を幅広く通覧し、事例の紹介を行う。	7/28、7/29
人間総合科学研究科	O1ZZ002	生命倫理学 Bioethics in medical research and practice	1	2	金6	4F204	有波 忠雄 高崎 真美 八神 健一 我妻 ゆき子 柳 久子 小野寺 雅史 濱田 洋美 福永 潔 木澤 義之	遺伝子治療、臓器移植、人工臓器、生殖医療、遺伝子診断、薬物やその他の治療法の治験などの現代の医療や医学研究には、インフォームドコンセント、個人の尊厳やプライバシー、脳死判定やリスキーマネジメント、治療停止の選択など生命倫理にかかわる多くの問題を含んでいる。現代医療が抱える生命倫理諸問題の基礎知識、基本的考え方を習得するとともに、実例により学ぶ。	
生命環境科学研究科	O1ZZ003	環境倫理学概論 Introduction to Environmental Ethics	1	1	集中	理修C103	渡邊 和男 松井 健二 伊藤 太一	本講義では、環境倫理、生命倫理、科学技術倫理など人類と自然との関わりに潜む倫理的、道徳的な問題点を幅広く通覧する。具体的には、自然保護の理念と実施、生物種の多様性の維持、生物や遺伝資源に係る知的所有権、動物の権利、遺伝子組換え体の解放系利用、遺伝子工学のリスクへの配慮、環境汚染・破壊などの倫理・法制・社会に関わる諸問題を紹介し、環境保全と持続性を構築するための指針を明らかにする。	7/7、7/8
生命環境科学研究科	O1ZZ004	研究倫理 Introduction to Academic Integrity	1	1	集中	総合A110	小林 信二 大須賀 壮 菱山 豊	研究活動に従事する上で踏まえるべき研究倫理の基礎を、具体的事例を交えて講義する。研究不正（FFP）、研究費の不正使用、その他のコンプライアンスなどを取り上げる。また、これらを理解するための前提となる、科学技術政策、研究助成のしくみ、申請や審査のしくみなどについても触れる。	5/10、5/17
システム情報工学研究科	O1ZZ005	企業と技術者の倫理 Ethics for Engineers in Business	2	1	集中	理修C103 3A301	掛谷 英紀 白川 直樹 伊藤 誠 谷口 綾子 谷尾 和（非） 田村 直義（非） 隅藏 康一（非）	多くの技術者は企業に属し、その中で社会とビジネス的な関わりを持ちながら仕事を行っている。本講義では、そういった現場の技術者の声を取り上げながら、企業における技術者の倫理について議論する。	7/3~5、7/18、7/19
人文社会科学研究科	O1ZZ006	「分析・操作の対象としての人間」と 「人格としての人間」 Human being as person and as an object	1	1	集中	人社A818	桑原 直己	「分析・操作の対象としての人間」と「人格としての人間」とのそれぞれの意味について確認し、科学的研究と技術革新の中で両者の乖離の危険性を認識し、特に、科学技術の進歩に関わる研究者が「人格としての人間」に対する尊敬を保ち続けるための具体的方途を明らかにする。	7/2、7/3

◆研究マネジメント力養成

開設研究科	科目番号	授業科目	単位	開講学期	曜時限	教室	担当教員	科目概要	備考
数理工学物質科学研究科	O1ZZ007	発明発見はいかにしてなされたか How have inventions and discoveries made?	1	2	金6	1H201	中井 直正 鈴木 厚人（非） 山田 海人（非） 西澤 潤一（非） 井上 大祐（非） 石田 實夫（非）	自然科学上の発見や有用な発明がなされた過程をたどることによって、優れた研究を行うには何が大切かを学ぶ。通常の講義で習う知識は道具でしかない。その道具を使ってどのようにすれば良い研究ができるかということをも身につけるひとつの方法は歴史に学び、人に学ぶことである。大発見した例、それを逃がした例を分析してなぜそうなったかを考え、良くも悪くも教訓として学び、それを自らの研究人生に活かすことが大切である。本講義では主として近代現代になされた発明発見の過程を追い、優れた研究を行うのには何が大切かを共に考えていく。また	

(注)曜日時限については変更されることもあります。開設科目に係る質問については、当該支援室大学院担当に確認してください。

平成20年度 大学院共通科目

開設研究科	科目番号	授業科目	単位	開講学期	曜時限	教室	担当教員 (下線は実施責任者・ コーディネーター)	科目概要	備考
システム情報工学研究科	O1ZZ008	リスクマネジメント序論 Introduction to Risk Management	1	2	集中	総合B O112	宮本 定明 遠藤 靖典 村尾 修 庄司 学 甘利 康文 (非)	リスクマネジメントは現代社会を構成する最も重要な要素の一つであり、リスクマネジメントの適否が個人の生命や組織運営の成否を左右するといっても過言ではない。本講義では、様々なリスクの概念、その現われと管理・対処の方法について概説する。	11/25、11/26
生命環境科学研究科	O1ZZ009	知的所有権論 Intellectual Property Right	1	3	集中	BS502	佐竹 隆顕 鈴木 伸夫 (非)	1. 知的財産とは 2. 日本及び欧米の特許制度の概要 3. 諸外国の特許法 4. 日本の産業発達における特許制度の役割 5. 特許制度の活用事例からみた技術開発と特許権取得の効力 6. 事例による発明の把握 7. 事例に基づく特許明細書の作成 8. 知的財産権の申請・取得	12/4、5
生命環境科学研究科	O1ZZ010	科学技術・学術政策概論 Introduction to Science and Technology Policy	1	1	集中	総合A111	泉 紳一郎 今井 寛 白岩 善博	官民の研究開発現場、大学の教育研究現場はもとより、広く社会の各方面で科学技術にかかわる者を対象に、それらの活動の基礎となる、我が国の科学技術・学術政策の形成とその実施に関わる枠組みおよび現況に関する基礎知識を授ける。これを通じて、その現場にある者が科学技術・学術政策への関心やあり方について省察できる能力を培うための基盤を構築させる。	第1回 5月21日(水) 第2回 5月28日(水)
図書館情報メディア研究科	O1ZZ011	研究者のための学術情報流通論 Academic Information	1	1	集中	7A204 (春日ヶ丘A)	逸村 裕 宇陀 則彦 松林 麻実子	学術情報流通は人文学から自然科学に至るまで、どの分野においても学術の根幹である。今日、日本人の科学論文生産は世界全体の約10%を占めている。一方で、学術情報流通は年商100億ドルを超え、年成長率5%のグローバルビジネスでもある。1665年学術雑誌創刊以来の学術情報流通について、研究者が知るべき内容を中心に講義する。学術制度の成り立ち、査読制度、メディア変革の歴史、シリアルズクライシス、電子ジャーナルとコンソーシアム契約、インパクトファクターの実態と問題点、研究評価、オープンアクセス、機関リポジトリそして	7/18、7/19

◆情報伝達力・コミュニケーション力養成

開設研究科	科目番号	授業科目	単位	開講学期	曜時限	教室	担当教員 (下線は実施責任者・ コーディネーター)	科目概要	備考
図書館情報メディア研究科	O1ZZ012	サイエンスコミュニケーション概論 Introduction to Science Communication	1	1	集中	7A103 (春日ヶ丘A)	中山 伸二 武者小路 澄子 Jennifer Maryweathers	科学技術と社会の相互作用において出現する/出現した様々な状況をとりあげ、サイエンスコミュニケーションのあり方について考察する。 1. コミュニケーションとは 2. サイエンスコミュニケーションの背景 3. 諸外国のサイエンスコミュニケーション 4. 日本のサイエンスコミュニケーションの現状	7/4、7/5
生命環境科学研究科	O1ZZ013	サイエンスコミュニケーション講座 Science communication I	1	2	集中	生農棟 F607	R. Stone (非) 白岩 善博	Rapid advances in science and technology have created a niche in the journalism profession for communicators who can interpret scientific findings for the general public. The majority of today's successful science journalists received scientific trainin	8/28、8/29

(注)曜日時限については変更されることもあります。開設科目に係る質問については、当該支援室大学院担当に確認してください。

平成20年度 大学院共通科目

開設研究科	科目番号	授業科目	単位	開講学期	曜時限	教室	担当教員 (下線は実施責任者・ コーディネーター)	科目概要	備考
生命環境科学研究科	O1ZZ014	サイエンスコミュニケーション講座II (バリエーションの実践) Science communication II	1	1	集中	総合A110	武原 信正 (非) 菅原 剛彦 (非) 小貴 美恵子 (非) 坂井 かをり (非) 和田 洋	「サイエンスコミュニケーターは、どのように育っていくか」 医療・生命科学の情報発信分野で幅広く活動する講師(医学出版社社長)のコーディネートにより、「大学で自然科学を学んだ研究者が、実社会に出た後、どのような体験や学習を通じてサイエンスコミュニケーターに成長していくか、またそのプロセスにおけるターニングポイントは何か」などを、現在第一線で活躍する専門家(複数)に、自らの体験を通して紹介してもらう。今回は、サイエンスコミュニケーション論の講義や体験学習から離れて、アカデミアでの理論と社会実務とのギャップ	7/3、7/4
生命環境科学研究科	O1ZZ015	サイエンスコミュニケーション講座III Science communication III	1	1	集中	総合A111	野村 港二	サイエンスを伝えるためには、伝える相手の分析、ロジックの組み立て、用語の選択、ビジュアル資料の作成など多くの準備を必要とします。さらに、相手に合わせて文体を考え、演壇で講演する場合には演出を考える必要もあります。この講義では、実践を通してサイエンスを誰にでも一通りに、そして快く受け取ってもらえるように伝える基本を学びます。 授業計画： 1. サイエンスとは何だろう : サイエンスと科学、サイエンスを発信する場としての大学 2. 伝えるためのテクニック : 企画と構成	7/14、16
生命環境科学研究科	O1ZZ016	英語発表-プラクティス English Presentation Practice	1	1	集中	生農棟 B802	Jennifer Manyweathers	「国際会議における研究発表を例にとり、その実践形式の講座とする。基本的台詞、発表のポイント、効果的な話し方、有効なプレゼンテーション法等について実践形式の授業とする	7/7、7/8
生命環境科学研究科	O1ZZ017	科学英語論文ライティング-プラクティス Scientific Writing in English-Practice-	1	1	集中	総合A111	DeMar Taylor	英語科学論文の書き方について、効果的な構成、表現法、コツ等を解説し、実際に科学論文を書くにあたって必要な知識や技術を身につけることを目的に講義を行う。	7/2、7/5
生命環境科学研究科	O1ZZ018	実践英語 Practical English Course	1	2	集中	総合D116	Jennifer Manyweathers	本コースは国際企業への就職を希望する大学院生のための実践講座である。国際企業のリクルート方法は日本企業のものとは異なっている。そのため、国際企業へ就職するためには、インタビューなどに対する特別の対策が必要であり、その能力の一端を磨くための基本を提示する。それらには、履歴書(CV)の書き方の習得や基本的考え方の醸成などが必要である。本コースは、2日間のコースであり、講義とプレゼンテーションやインタビューへの対応などの実践部分の2つの部分から構成されている。受講生は、最終的に、国際企業への就職に必要な知識、	11/25、11/26
生命環境科学研究科	O1ZZ019	サイエンスコミュニケータ養成実践講座 Science Communicator Practical Training Program	4	1・2	集中	国立科学 博物館	小川 義和 (非：国立科学博物館) 白岩 善博	主として、自分の専門の科学を一般の人々にわかりやすく伝えられるコミュニケーション能力の養成を中心に、国立科学博物館の資源や環境を活用した理論と実践を組み合わせた対話型学習を進める。 修了者には、「サイエンスコミュニケーション1 修了証」が授与され、別途同博物館で実施する「サイエンスコミュニケーション2」の受講資格が与えられる。	募集 ~6/20 実施日 7/22~8/29 ※別途科博への申し込みが必要 受講料：30,000円(予定) 募集定員：20名(ただし、養成講座全体で20名のため、履修制限あり) ◆国立科学博物館「KA」-y http://www.kahaku.go.jp/

(注)曜日時限については変更されることもあります。開設科目に係る質問については、当該支援室大学院担当に確認してください。

平成20年度 大学院共通科目

◆キャリアマネジメント

開設研究科	科目番号	授業科目	単位	開講学期	曜時限	教室	担当教員 (下線は実施責任者・ コーディネーター)	科目概要	備考
生命環境科学研究科	O1ZZ020	教育・研究指導Ⅰ (附属・高大連携による教員養成実践) Introductory Course for Teacher Training and Education of Life and Environmental Sciences	1	1・2	集中	屋外 ほか	澤村 京二 井上 勲 中山 剛 戒能 洋一 八畑 謙介 柿島 真 ほか	将来理科教員になった場合に役立つ実践的な実習・実験の高度専門知識を身につける。生物・地学を合体した内容で実施する。	7/28~8/1
人間総合科学研究科	O1ZZ021	教育・研究指導Ⅱ (教師論) Theories and Discussion for Teachers	1	未定	集中		石塚 利紀 坪田 耕三 飯田 和明(非) 熊田 亘(非) 高村 明良(非) 今井 二郎(非) 瀬戸口 裕二(非)	教師としての生き甲斐と成長、教わることの魅力、優れた指導、生徒や保護者との関わりなど、教師論を実践的に考えます。経験豊かな附属学校の教員による講義と、これを受けて受講者による「魅力ある教師像」「私の教師像」についての討論を行います。	履修申請時期等の詳細は後日掲示
人文社会科学研究科	O1ZZ022	教育・研究指導Ⅲ (職業としての大学教育) College Teaching as a Profession	1	1	集中	1C210	宮本 陽一郎 小笠原 正明(非) 池田 潤 馬籠 清子 浜名 恵美 佐藤 良明	この授業は、本年度より導入されるティーチング・フェロー制度の一環として、将来大学教員としてのキャリアを志す院生のために、シラバス作成、成績評価、ハラスメント防止、リテラシー教育、教養教育、ファカルティ・ディベロップメント、教育プロジェクト作成などをめぐる、大学教員としての技法と倫理を解説するとともに、今日の日本の大学教育が直面する諸課題を論じます。	7/2~4
生命環境科学研究科	O1ZZ023	博士のキャリアパス Career paths for PhDs	1	1	集中	総合A110	小林 信一	受講生が、目的意識をもって博士課程を過ごしてもらうために、博士課程修了後の多様なキャリアパスについて考察する。経済社会における科学技術の役割、産業界における研究活動の意義、その他の科学技術を活用する仕事、およびこれらの実態や事例など、社会における博士の役割について取り上げるとともに、キャリアデザイン、能力開発、ポストドクについても言及する。先輩たちの事例も紹介する。	4/19、4/26
生命環境科学研究科	O1ZZ024	博士と企業 Ph.D in Company	1	2	集中	2A206	オムニバス形式 吉武 博通 小林 伸一 白岩 善博	博士課程修了後、企業等に就職し、研究所をはじめ企業内の様々な部門で活躍する実務家が、博士課程の研究で得た知識・素養が実社会でどのように活かされるか、大学院時代にいかなる姿勢で研究に取り組むべきか等について、自身の経験を踏まえて講義を行う。 講師は、理学系、工学系、生命系など幅広い分野の講師によるオムニバス形式の講義とし、初回と最終回に全体のまとめを行う。	1/14、21、28、2/4

◆大学院生としての知的基盤形成

開設研究科	科目番号	授業科目	単位	開講学期	曜時限	教室	担当教員 (下線は実施責任者・ コーディネーター)	科目概要	備考
数理物質科学研究科	O1ZZ025	化学物質の安全衛生管理 Safety and health for chemists	1	1	火3	1E303	中本 真晃 長友 重紀 野本 信也 百武 篤也 山村 泰久	人類は数多くの有用な化学製品を生み出し活用してきた。その科学技術の進歩の過程で、有害な化学物質でも作って使う必要があった。過去には化学物質の誤った使い方のせいで、大きな公害や職場・家庭での健康障害が引き起こされた。現在の日本では化学物質の安全な取り扱い方が理解され実践されている。本講義では、まず両方の側である化学物質の危険性と有害性を述べる。次に化学物質の生産、使用、廃棄の基礎的及び専門的知識と技術を解説する。この講義を通して、化学物質の関わる研究や仕事をする場合に適切に行動できる人材の育成を目指す。	
システム情報工学研究科	O1ZZ026	計算科学リテラシー Computational Science Literacy	1	1	集中	計算科学研究 センター 国際ワーク ショップ室	佐藤 三久 日下 博行 館野 賢 青木 慎也 森 正夫 北原 格 天笠 俊之 稲垣 祐司 矢花 一浩	超高性能計算機を用いた数値解析により科学の未踏領域を切り拓く計算科学は実験・理論に並ぶ、重要かつ最先端の研究手段であり、その重要性を増している。これからの科学を探究するには計算科学の基礎的な知識と方法を身に付けておくのは必須であり、いわば「読み書き」すなわちリテラシーであるといえる。この講義はこれからの科学にとってのリテラシーである計算科学についての入門編である。計算科学研究センターの教員により各分野における計算科学による研究を概説し、さらに計算科学から科学諸分野を分野横断的かつ包括的に捉える大局的な	7/8、7/15

(注)曜日時限については変更されることもあります。開設科目に係る質問については、当該支援室大学院担当に確認してください。

平成20年度 大学院共通科目

開設研究科	科目番号	授業科目	単位	開講学期	曜時限	教室	担当教員 (下線は実施責任者・ コーディネーター)	科目概要	備考
システム情報工学研究科	O1ZZ027	計算科学のための高性能並列計算技術 High Performance Parallel Computing Technology for Computational Sciences	1	1・2	集中	計算科学研究センター 国際ワークショップ室	佐藤 三久 朴 泰祐 建部 修見 多田野 寛人 高橋 大介	計算科学を支える大規模シミュレーション、超高速数値処理のためのスーパーコンピュータの主力プラットフォームは最新のマイクロプロセッサを用いた並列計算機となっている。ところが、大規模な並列計算機は、高い理論ピーク性能を示す一方で、実際のアプリケーションを高速に実行することは容易なことではない。この講義は、計算機の専門でない、高速な計算を必要とする計算科学のユーザが並列計算機の高い性能を十二分に活用するために必要な知識、プログラミングを学ぶことを目的とする。これは、公開セミナーと同時に行われ、計算科学リテラシー	7/31、8/1
生命環境科学研究科	O1ZZ028	「かたち」と「こころ」 katachi and kokoro	1	2	集中	総合A110	野村 港二 井上 勲 宮本 陽一郎 志水 勝好	華道、茶道、武道、スポーツ、芸術、祈り、研究の手法、プレゼンテーションなど、何事も入門は「かたち」から。だが極めると「こころ」の世界にたどりつく。データに基づいてインフォメーションを発信する学問の世界でも、伝えたいというエモーションが発信のエネルギー。学問における「かたち」と「こころ」から、我々にとって「大切なこと」は何かを考えて行く。	11/26、11/27
生命環境科学研究科	O1ZZ029	技術と社会 Science Technology in Society	1	1	集中	総合A110	小林 信一 () (非)	「社会の中の科学技術」「社会のための科学技術」の考え方を歴史的、理論的に学ぶとともに、科学技術コミュニケーション、科学技術と市民参加などの横軸となる視点を理解する。また、ナノテクノロジーと社会、遺伝子組換え技術と社会、リスク評価と規制科学などの具体的事例を取り上げ、理解を深める。	7/11、7/12
生命環境科学研究科	O1ZZ030	Science mini-tour to Top Research Institutes in Tsukuba Science City	1	1～3	集中	学外	オムニバス形式 白岩 善博 ほか	筑波大学および筑波大学研究学園都市内の研究所の見学会とセミナー。学内教員、連携大学院教員が半日の見学会を企画する。(全て英語使用)	10/7、10/14、10/16
生命環境科学研究科	O1ZZ031	UT-Top Academist's Lecture	1	1～3	集中	講義日ごとに 掲示	オムニバス形式 白岩 善博 中井 直正 青木 慎也 岩井 宏暁	分野を問わず、新聞などで取り上げられた研究成果、著書の発行者、学会賞などの受賞者の中から優れた講演者を選び、年間3回(各学期1回)のセミナーを開催する。	6/17、10/14、11/20、 12/1
生命環境科学研究科	O1ZZ032	環境・エネルギー・経済(3E)概論 Introduction to Environment, Energy & Economy	1	1	集中	筑波大学講堂 ほか	井上 勲 渡邊 信 福島 武彦 内海 真生 藤巻 晴行 山中 勲 ほか	現代社会の最重要課題である地球温暖化問題に対応するために、筑波大学、筑波研究学園都市の研究機関、茨城県、つくば市が連携して、「つくば環境・エネルギー・経済(3E)フォーラム」を設立し、2030年までに、つくば市を低炭素モデル都市として再構築することが宣言された。本講義では、地球温暖化に関する学問的側面に焦点をあて、アカデミアがいかに地球温暖化問題に対処すべきか、具体的事例に関する講義や視察を行い、環境問題、温暖化対策のあるべき姿について討論を行う。	5/31、6/1、6/28
人間総合科学研究科	O1ZZ033	犯罪と社会 crime and community	1	2	集中	医学学群棟 臨床講義室C	本田 克也 田中 栄之介	法医学の現場を解説し、犯罪と社会との関係を理解する。	8/27、8/28
人間総合科学研究科	O1ZZ034	パフォーマンス&アーツにみる身体 Body in Performances and Arts	1	2	集中	大学会館 国際会議室	瀧水 諭 五十嵐 浩也 五十殿 利治 鷺津 浩子	日常生活を覆う映像文化の中で、身体のパフォーマンスやアートによって人々はどのような意味を生み出し、行為するのか。芸術、ダンス、スポーツ、技術といったものを「パフォーマンス&アーツ」として括り、私たちの身体(身体観、身体感覚など)が日常生活の中でどのように構築されていくのかを考える。ヴィジュアル化された題材を用い、今ある私たちの身体感覚と往還しながら、議論しよう。 1. 日常生活の中のテクノロジーとアート 2. アートの地政学 3. オリンピックの歴史と内包される政治性 4. 身体感覚を掘り起こす	11/7、11/8

(注)曜日時限については変更されることもあります。開設科目に係る質問については、当該支援室大学院担当に確認してください。

平成20年度 大学院共通科目

◆身心基盤形成

開設研究科 (専攻)	科目番号	授業科目	単位	開講 学期	曜時限	教室	担当教員	科目概要	備 考
人間総合科学研究科	O1Z Z035	大学院体育1：つくばマラソン TSUKUBA Marathon	1	1・2	金5	陸上競技場 ほか	鍋倉 賢治	精神ストレスは適度な肉体的ストレスによって解消できます。健康で柔軟な身体と脳を作り、研究活動を支えましょう！可能ならマラソンにチャレンジしよう！	
人間総合科学研究科	O1Z Z036	大学院体育2：水泳 Swim	1	1・2	火5	屋内プール	高木 英樹	屋内50mプールを利用し、初心者から上級スイマーまでを対象に能力別にグループを編成して、競泳、スキndaイビング、水球など、様々な水中運動の基礎及び応用技術を実習する。	
人間総合科学研究科	O1Z Z037	大学院体育3： バスケットボール（3 on 3） Basketball（3 on 3）	1	1・2	金5	総合体育館 ほか	大高 敏弘	総合体育館を活動拠点として、バスケットボールを中心とするスポーツ活動を行う。	

◆分野共通性の高い研究科定期開講科目セレクション（平成19年度推奨科目から）

（注）下記の科目は、各研究科の開設科目の中から大学院生に履修を推奨する科目です。

開設研究科 (専攻)	科目番号	授業科目	単位	開講 学期	曜時限	教室	担当教員 (下線は実施責任者・ コーディネーター)	科目概要	備 考
図書館情報メディア研究科 (図書館情報メディア専攻 博士前期課程)	O1MA102	情報著作権法論 Information Copyright Law	2	2	火5・6	7A204 (春日ヶ丘ビル)	村井 麻衣子	著作権法に関する論文、裁判例を題材として、履修者による発表・意見交換等を行い、関連する論点や条文解釈についての検討を行う。著作権法に対する理解を深め、望ましい制度のあり方を考察することを目的とする。(初回に著作権法の基礎的な知識を問う試験を行いますので、履修希望者は必ず出席して下さい。)	
図書館情報メディア研究科 (図書館情報メディア専攻 博士前期課程)	O1MA113	ネットワーク社会法制度論 Legal and Social System for the Info- Communication Network Society	2	1	火5・6	研究棟407 (春日ヶ丘ビル)	新保 史生	ネットワーク社会の発展に伴い生ずるようになった新たな社会問題や法律問題を、実際に生じている諸問題を時宜に応じて的確に把握した上で、求められている法制度を技術的な対応も加味して研究します。	
人間総合科学研究科 (体育学専攻博士前期課程)	O1EH102	スポーツ倫理学特講 Topics on Sport Ethics	1	3	水1	5C603	近藤 良享	応用倫理学の一領域としてのスポーツ倫理学とは何か、また個別問題事例に対してどのような道徳的推論をもって正義、公正を実現するかについて講じる。	
人間総合科学研究科 (スポーツ健康システム・マシナリ専攻 修士課程 夜間大学院)	O1EK001	スポーツ・ヘルスプロモーション論概論 Introduction to Sport and Health Promotion	2	1	水7・8	E364 (東京ヶ丘ビル)	宗像 恒次 河野 一郎 吉田 肇 野津 有司 菊 幸一 久野 謙也 橋本 佐由理	スポーツとヘルスの相関的・相乗的な関係の基本理念とその哲学について、人間存在の生理的・心理的・社会的な特質との関係から概説する。また、現代社会における長寿化人生、ハイテク・情報化生活等の生活姿容に注目しながら、人間存在の現代的課題を取り上げ、そこにおけるスポーツ文化享受による健康開発の可能性を環境世界、社会・文化生活、諸個人のライフスタイルやライフステージとの関係から概説し、エコロジーと共生を希求する21世紀世界におけるスポーツ・ヘルスプロモーションの相乗的な効果を上げるための政策課題について講義する。	
人間総合科学研究科 (フロンティア医科学専攻 修士課程)	O1EQ034	医科学セミナーⅠ (ブレインサイエンス) Medical Science Seminar I : Brain Science Seminar	1	1~3	随時		オムニバス形式 志賀 隆 ほか	分子レベルから形態・機能・臨床医学、社会医学にまでおよぶ神経科学のさまざまな分野で活躍する第一線の研究者が行う最新のトピックスに関する10回のセミナーに出席し、討論に参加する。	
人間総合科学研究科 (フロンティア医科学専攻 修士課程)	O1EQ037	医科学セミナーⅣ (高齢者医学) Medical Science Seminar I : Medical Care and Health Care for the Aged	1	1~3	随時		柳 久子 奥野 純子 () (非)	今日の少子・高齢社会において、各分野の専門家の講演を聞き、討論に参加することによって、地域における保健・医療・福祉に関する理解を深めることは大変意義あることである。保健・医療・福祉に関する最近のトピックス・課題を中心に、充実した討論をまじえセミナーを進める。	
人間総合科学研究科 (看護科学専攻 修士課程)	O1EA503	健康行動科学論 Lecture on Health Behavioral Science	1	1	金3	総合D116	宗像 恒次	健康(精神健康を含む)の維持増進にかかわる人間の行動を生理、心理、社会、文化などから統合的に捉え、各ライフステージにおける健康行動、行動変容支援法、家族関係支援法、職場関係支援法について論じる。	
人間総合科学研究科 (ヒューマン・ケア科学専攻)	O2EE008	ユニバーサル・デザイン論 Lecture on Theory of Universal Design	1	3	金2	芸術学系棟 B407	蓮見 孝	人間社会から障害をなくし、あらゆる人が快適に生活できるようにするためのユニバーサル・デザインの概念を、福祉デザインの歩みから理解するとともに、具体的なユニバーサル・デザインの事例研究を行う。	

(注)曜日時限については変更されることもあります。開設科目に係る質問については、当該支援室大学院担当に確認してください。

平成20年度 大学院共通科目

開設研究科 (専攻)	科目番号	授業科目	単位	開講 学期	曜時限	教室	担当教員 (下線は実施責任者・ コーディネーター)	科目概要	備 考
人文科学研究科 (国際地域研究専攻 博士前期課程)	O1DJ011	国際関係論Ⅰ International Relations 1	2	2	月1・2	8A409	ダダハエフ	This course will be dedicated to the introduction of the theories of the international relations to the students and discussion of the related topics in the class. This course will also attempt to expose students to problems and puzzles that arise in the s	
人文科学研究科 (国際地域研究専攻 博士前期課程)	国際地域研究 専攻の科目番 号参照	大学院外国語Ⅰ Foreign language I	各1	/	/	/	1 単位科目を「大学院外国語Ⅰ」、2 単位科目を「大学院外国語Ⅱ」と位置付ける。 履修する場合は、地域研究研究科の以下の科目とする。 【各言語文化科目】 スペイン語文化研究、イタリア語文化研究、ドイツ語文化研究、ロシア語文化研究、中国語文献研究、 朝鮮語文化研究、現代ヘブル語文化研究、アラビア語文化研究、ラテン語文化研究、古典ギリシャ語文化研究		
人文科学研究科 (国際地域研究専攻 博士前期課程)	国際地域研究 専攻の科目番 号参照	大学院外国語Ⅱ Foreign language II	各2	/	/	/			

(注) 曜日時限については変更されることもあります。開設科目に係る質問については、当該支援室大学院担当に確認してください。